

【埼玉県】ウォータースタンド株式会社 ~2030年までに使い捨てプラボトル30億本削減に取り組む~

企業概要

- 水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」レンタル、空気清浄機販売・レンタル
- 自治体や企業と連携しマイボトルに給水と呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進
- 2018年7月、SDGsへの貢献を決意しコア事業を「ウォータースタンド事業」に転換。
- 2030年までに30億本の使い捨てプラボトル削減を目指すミッションとビジョンを策定。

貴社URL : <https://waterstand.co.jp/>

企業情報

企業名	ウォータースタンド株式会社		
代表者	代表取締役社長 本多 均		
設立年	1969年	従業員	586名
資本金	5000万円		
業種	物品賃貸業		
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463		
事業概要	水道直結ウォーターサーバー、空気清浄機レンタルなど		
電話番号	048-657-6731		



ウォータースタンド(株)
代表取締役社長 本多均

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

- 2015年、国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、同年パリ協定が締結されたことをきっかけに、水道直結である「ウォータースタンド」のプラスチックボトルを不要とする環境面での優位性に気づき、2018年7月にコア事業を「ウォータースタンド事業」に転換。
- 2019年から地方自治体と使い捨てプラスチック削減に向けた連携協定を締結し、マイボトルに給水と呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 使い捨てプラボトルをマイボトル（水筒）で代替することを呼び掛け、2020年6月度までに18万3000本の水筒を配布。
- 環境目標を定め、ISO14001を取得。環境・社会データを盛り込んだウォータースタンドレポートを発行。
- 地方自治体との連携協定の下、誰もが給水できるウォータースタンド（給水スタンド）を159台設置（2020年6月度）。連携協定を締結している地方自治体はさいたま市、葉山町、所沢市、京都市、鎌倉市、世田谷区、小田原市、館林市（2021年1月末現在）。
- 営業車両ではなく自転車を使用するエコサイクル手当を2020年2月に導入。
- 営業所周辺にある海浜でのごみ収集・定期的な清掃活動を実施。

【取り組んだ成果・効果】

- ウォータースタンド設置台数から使い捨てプラボトル削減本数・CO2排出抑制量を推計。使い捨てプラボトル削減本数は5,701万本、CO2排出抑制量は5991.86t-CO2（2020年6月度）。
- 社内では座学形式の研修だけでなく、SDGsカードゲームを使用した体験型ワークショップ研修を233名に実施。日常業務とSDGs貢献の関連性について従業員の意識が向上し、お客様とのコミュニケーション深化により3期連続ウォータースタンド設置台数が35%以上増加。
- ステークホルダーとのパートナーシップが拡大し、西日本工業大学へのSDGsに関する出張授業、地方自治体が開催するSDGsに関するミーティング（内閣府SDGsパートナーミーティング企業版ふるさと納税分科会、かながわSDGsパートナーズミーティング）などでの登壇が実現。
- 動画「ウォータースタンドのミッションとビジョン」が農林水産省「サステナアワード2020」ルキー賞を受賞。
(<https://www.youtube.com/watch?v=VsstFOIA6x4&t=1s>)

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsは当社にとって未来の世代からの宿題です。「ごみを減らす」といった消費のプロセスの一部を改善することではなく、マイボトルに給水することで、生産、運搬、消費、回収、リサイクルというリニア型経済のプロセス全体を見直して参りたいと考えています。循環型経済に移行するために事業を通じてより良い行動をとることへの呼びかけを広げて参ります。



マイボトルに給水しやすい
ウォータースタンド



ウォータースタンドの
ミッションとビジョン

地方自治体と実現する
持続可能な地域づくり



葉山町町長山梨崇仁様との対談
→<https://www.youtube.com/watch?v=Fc9YTeE-IWo>